

C-67 被服構成技術指導に関する研究 (第3報)
—白石式早縫法に於ける針目について—

聖カタリナ女短大 白石 方子

1. 第1報は大学紀要に、第2報は中国四国家政学会、1969年5月24日25日に、早縫法の一部として発表したものに続く研究で、何故に、これでよいのかとまで駄目おしの上、めまぐるしい世の中に科学的検討の必要を感じ、伝統を失うことなく、針目と、縫製法の単純化を考究する。

2. 短大生、婦人会、各種学校に縫製法と針目の調査をした結果この方法は見あたらずよい方法と信じ、短大2年生に実験した。現在手近な裁縫書と、仕立屋に相違点を見出し検討した。

3. 時間の関係上、合袖縫製上の針目についてのみ限定した。

遅速を生じる運針の巧拙の影響をこの方法で或程度補い得たこと、時間の短縮を見出したこと、左右袖の誤りのないことの点などは単純化、科学化を個人技術に終らせたくない普遍的なものとして役立ち、学校、家庭、仕立業者の間に活用される価値あるものとし得たならと意を強くし、今後身頃から全体的なまとめをして続ける研究としたい。